



2012年3月期 第3四半期決算説明会

井関農機株式会社

代表取締役 多田 進
専務取締役

2012年2月17日

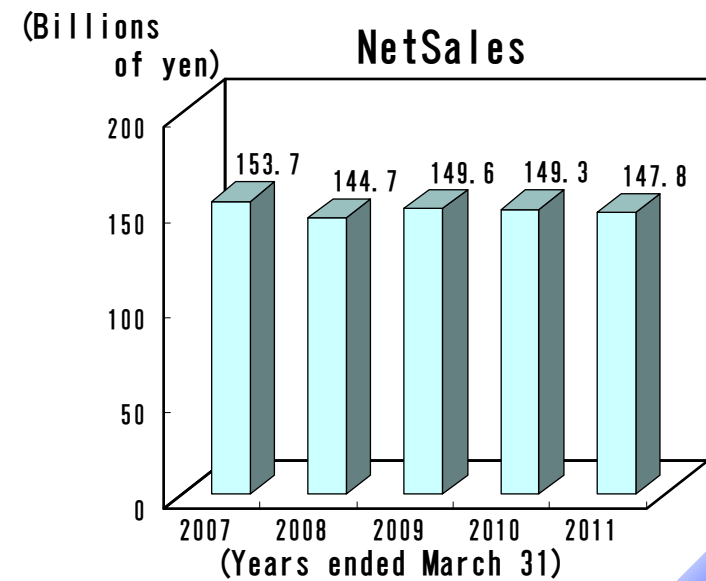


目次

1. 2012年3月期 第3四半期業績の概要
2. 国内外市場の動向
3. 2012年3月期 通期業績予想
4. トピックス



1. 2012年3月期 第3四半期業績の概要



第3四半期業績の概要 (9ヶ月累計)

(単位：億円、%)

科 目	10/3期 3Q	11/3期 3Q		12/3期 3Q		前年 同期比 増減	12/3期 3Q 予想	予想比 増減
			比率		比率			
売上高	1,079	1,121	100.0	1,091	100.0	△30	1,076	+15
(国内)	963	984	87.7	938	86.0	△46	926	+12
(海外)	116	137	12.3	153	14.0	+16	150	+3
売上総利益	357	350	31.2	348	31.9	△2	347	+1
販管費	313	321	28.6	310	28.4	△11	316	△6
営業利益	44	29	2.6	38	3.5	+9	31	+7
経常利益	39	22	1.9	34	3.1	+12	27	+7
四半期純利益	27	6	0.6	22	2.0	+16	16	+6

*国内販売会社・井関農機(常州)有限公司 他

*井関農機(単体)・海外事業・製造所 他

累計：1～9月

累計：4～12月

国内売上高の内訳 (9ヶ月累計)

(単位：億円)

		10/3期 3Q	11/3期 3Q	12/3期 3Q	前年同期比		12/3期 3Q 予想	予想比 増減
					増減	備考		
農業 機械 関連 事業	整地機	215	208	219	+11	トラクタ：+12 耕うん機：△1	219	0
	栽培機	94	98	87	△11	田植機：△12 移植機：+1	87	0
	収穫調製機	172	184	179	△5	乾燥機：△3 他：△2	174	+5
	計	481	490	485	△5		480	+5
	作業機・部品	230	243	234	△9	作業機：△8	227	+7
	施設工事	65	62	30	△32		30	0
	その他農業関連	186	188	188	0		188	0
計	962	983	937	△46		925	+12	
その他事業	計	1	1	1	0		1	0
合計		963	984	938	△46		926	+12

	11/3期			12/3期			前年比		
	1Q	2Q	3Q	1Q	2Q	3Q	1Q	2Q	3Q
農業機械	153	168	169	141	166	178	△12	△2	+9
作業機・部品	73	96	74	60	96	78	△13	0	+4

海外売上高の内訳 (9ヶ月累計)

(単位：億円)

	10/3期 3Q	11/3期 3Q	12/3期 3Q	前年同期比		12/3期 3Q 予想	予想比 増減
				増減	備考		
北米	24	42	34	△ 8	トラクタ：△7 芝刈機：△1	34	0
欧州	38	43	48	+ 5	トラクタ：+3 芝刈機：+3 その他：△1	48	0
アジア	9	6	2	△ 4	トラクタ：△1 コンバイン：△2 田植機：△1	3	△ 1
中国*	30	29	52	+23	田植機：+24 コンバイン：△1	49	+ 3
オセアニア	2	3	4	+ 1	トラクタ：+1	4	0
製品計	103	123	140	+17		138	+ 2
部品その他	13	14	13	△ 1		12	+ 1
合計	116	137	153	+16		150	+ 3

*中国の売上は1~9月の実績

営業利益 (9ヶ月累計)

(単位：億円、%)

科 目	10/3期 3Q	11/3期 3Q		12/3期 3Q		前年 同期比 増減	12/3期 3Q 予想	予想比 増減
			比率		比率			
売上高	1,079	1,121	100.0	1,091	100.0	△30	1,076	+15
売上原価	722	771	68.6	743	68.1	△28	729	+14
売上総利益	357	350	31.2	348	31.9	△2	347	+1
販管費	313	321	28.6	310	28.4	△11	316	△6
営業利益	44	29	2.6	38	3.5	+9	31	+7

※前年同期比 営業利益増減内訳

[売上総利益]	・売上減少による粗利益の減少	: △7	
	・為替売上レート差	: △3	
	・原材料価格の値上り	: △2	
	・固定費の減少 (人件費△5、製造経費他△4)	: +9	
	・コストダウン他	: +1	
	売上総利益の減	: △2	
[販管費]	販管費減少 (人件費△6、経費△5)	: +11	
	営業利益の増	: +9	(符号は損益表示)

経常利益、四半期純利益 (9ヶ月累計)

(単位：億円)

	10/3期 3Q	11/3期 3Q	12/3期 3Q	前年 同期比 増減	12/3期 3Q 予想	予想比 増減
営業利益	44	29	38	+9	31	+7
金融収支	△8	△7	△7	0	△7	0
その他営業外収支	3	0	3	+3	3	0
経常利益	39	22	34	+12	27	+7
特別利益	0	0	1	+1	0	+1
特別損失	△2	△7	△4	+3	△4	0
税前利益	37	15	31	+16	23	+8
税、税調整額	△10	△9	△9	0	△7	△2
四半期純利益	27	6	22	+16	16	+6

※前年同期比増減内訳

[営業外収支]

- ・ 為替差損の減少 : +2
- ・ その他 : +1

[特別損益]

- ・ 投資有価証券評価損などの減少 : +4

※特別損益の内訳

11/3期 3Q		12/3期 3Q	
投資有価証券評価損	△3	退職給付制度変更	△3
資産除去債務会計	△2	他	△1
他	△2		
計	△7	計	△4

バランスシート

(単位：億円)

科 目	09/12	10/12	11/12	前年同期末比 増 減	11/3
現金・預金	108	131	112	△19	57
売掛債権	355	302	319	+17	287
棚卸資産	451	406	397	△ 9	410
(うち製品在庫)	(305)	(270)	(257)	(△13)	(278)
その他流動資産	26	31	31	0	33
固定資産	902	901	901	0	905
資産合計	1,842	1,771	1,760	△11	1,692
支払手形・買掛金	441	400	384	△16	420
借入金・社債	608	545	541	△ 4	435
その他負債	236	265	261	△ 4	291
(負債計)	(1,285)	(1,210)	(1,186)	(△24)	(1,146)
純資産	557	561	574	+13	546
(うち利益剰余金)	(67)	(67)	(67)	(0)	(52)
負債・資本合計	1,842	1,771	1,760	△11	1,692

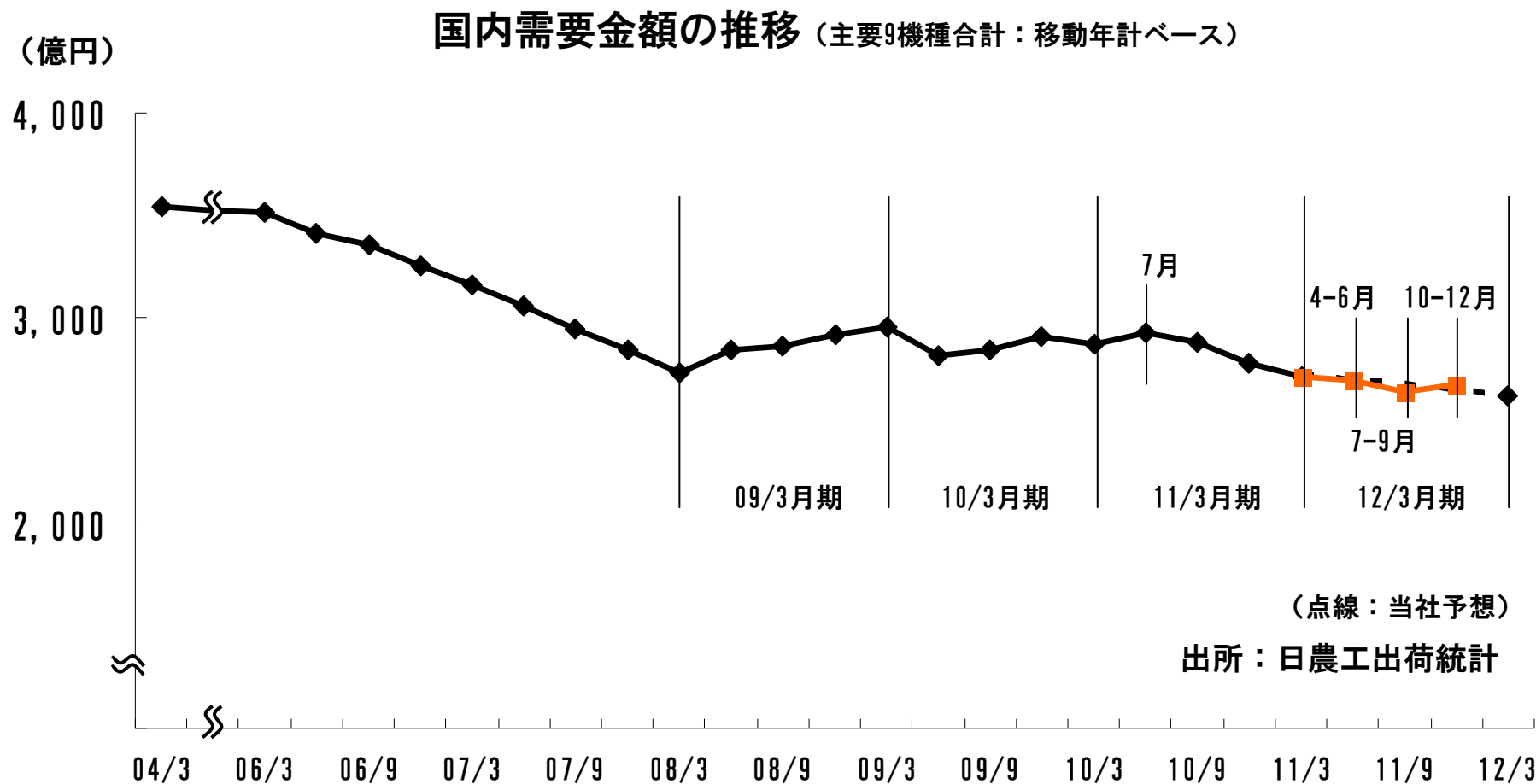


2. 国内外市場の動向



国内農機需要の推移

農機需要の推移（見通し）



国内農機市場の状況

国内農機業界出荷と当社実売

※主要9機種金額ベース、伸長率（単位：％）

出所：日農工出荷統計

	10年 1月～12月	11年 1月～12月	11年1～12月内訳			
			1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月
業界（出荷）	96	97	92	97	94	108
当社（実売）	100	100	90	99	105	102

国内農業トピックス

○農業再生・強化を予算要求、一部4次補正で前倒し

- ・戸別補償の実施 11年度と同じ枠組みで実施見通し 6,901億円
- ・農地集積の推進 担い手創出、平地で20~30ha 292億円 4次 801億円
- ・新規就農の増大 2万人/年の青年就農の定着 136億円 4次 23億円
- ・6次・成長産業化 市場規模拡大、ファンド創設 395億円 4次 108億円

○H24年産米の生産数量目標793万トン(前年比2万トン減)

- ・需要見通しは800万トン
を切る
- ・H22年の生産>需要の
4万トンを考慮

需要見通し (トン)	H22/23年	H23/24年	H24/25年
	820(実績)	805	797
生産数量目標 (トン)	H22年産	H23年産	H24年産
	824(実績)	795/813(見込)	793

○被災農地の営農再開H24年度までに3県で51%(原発等除く)

	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	計
3県面積 (ha)	1,290	6,310	5,480	1,970	15,050
		51%	36%	13%	100%

被災地農業再開に向けた当社の取組み

放射能汚染地域への取組み

放射性物質の除去・低減のための技術開発
⇒研究機関等と共同で実施

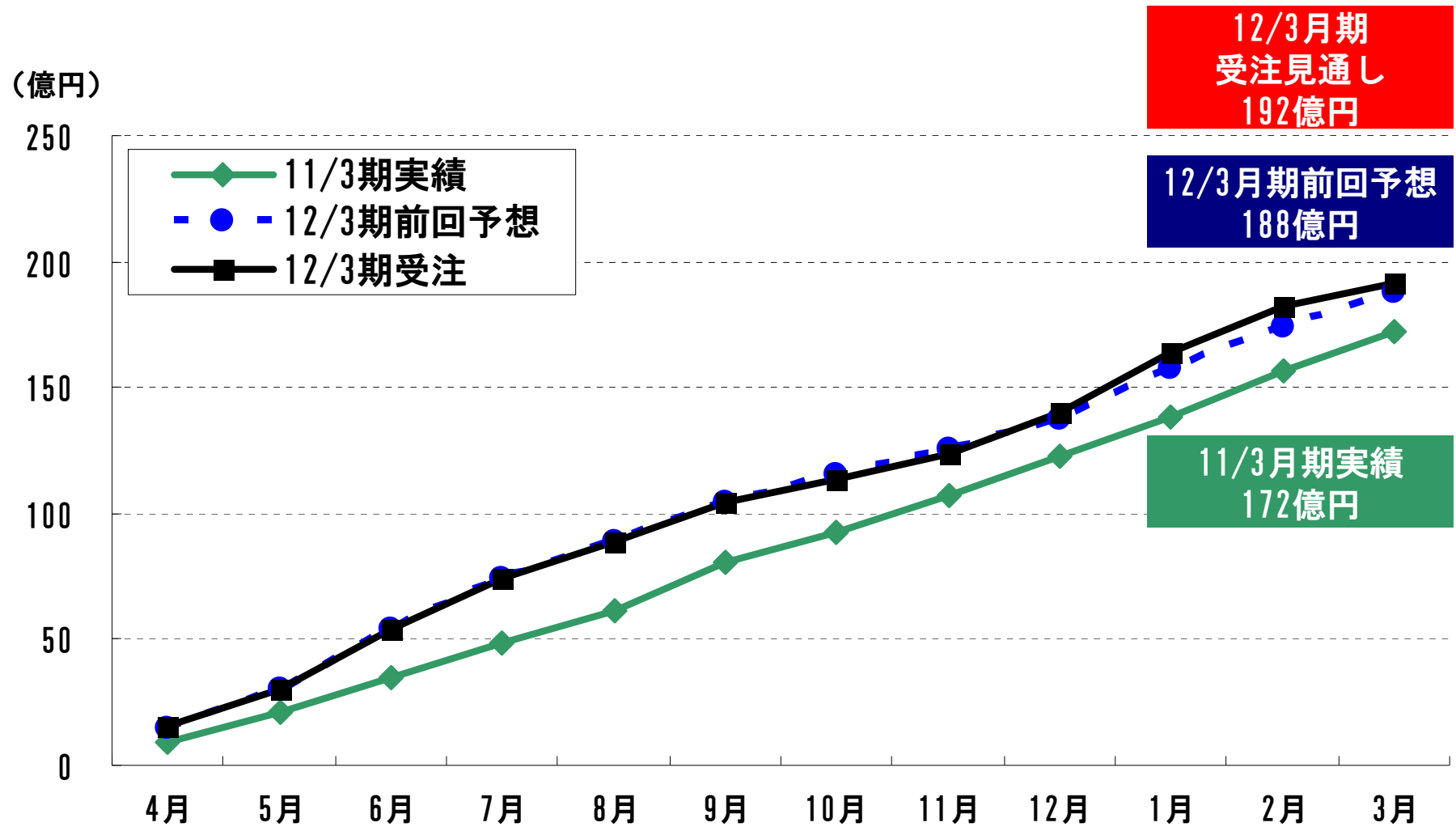
- ・ 土壌表面の放射性物質を地中に鋤き込み、廃土を出さない技術
- ・ 雑草などの処理においてセシウムの飛散を防ぐ技術
- ・ 高濃度の農地で作業を行なうためのトラクタの開発

被災農地再生への取組み

食料生産地域として再生するための先端技術を駆使した大規模実証研究
⇒公募課題への提案

- ・ 高品質米の低コスト・安定栽培技術の構築⇒密播疎植栽培
- ・ 米麦の低コスト二毛作体系による水田の高度利用
- ・ 遠赤ヒートリサイクル乾燥機による高効率・省エネ乾燥体系
- ・ 籾殻燃焼ボイラーを利用したハイブリッド暖房システム

海外製品売上の直近の状況



*12/3期受注 : 4-12月は出荷実績、1-3月は受注ベース

海外市場の動向（北米）

1. 北米市場の動向

・米国の10～12月における経済成長率は前期（7～9月）比 年率 2.8%で、数字の上では回復基調も、リーマンショック以降の大幅な落込みからの回復は緩慢である。失業率の改善は徐々に進んでいるが、個人消費については、低い伸びに留まっており、消費マインドは依然として低い。

・北米コンパクトトラクタ市場 ※エンジン50PS (PT040PS) 以下、芝刈機は含まない

*計数は四捨五入表示で無調整（単位：千台）

	10/ 1～12月	11/ 1～12月	前年同期比	
			増減	伸長率
米国	84	85	1	101%
カナダ	11	12	1	108%
北米 計	95	97	2	102%

出所：AEM統計（米国機器製造者団体：
Association of Equipment Manufacturers）

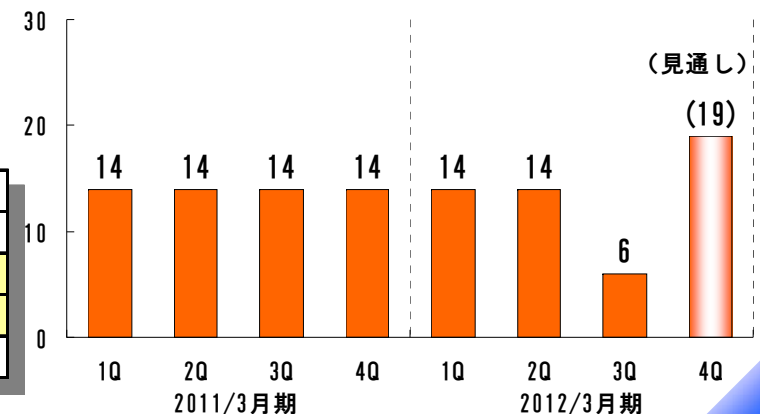
2012年の北米コンパクトトラクタ市場については、AEMは、3.2%増の予想

2. 当社の状況

- ・OEM取引先であるアグコ社の1～12月の実売は前年を若干下回る水準で推移。
- ・例年、第3四半期は、アグコ社決算時の仕入政策により売上げが減少する、10/3月期、11/3月期は年間を通した仕入政策により一定化。

	08/3月期	09/3月期	10/3月期	11/3月期	12/3月期
1Q	3	18	8	14	14
2Q	22	27	8	14	14
3Q	8	4	8	14	6
4Q	21	16	16	14	(19)

北米向け製品売上高の推移



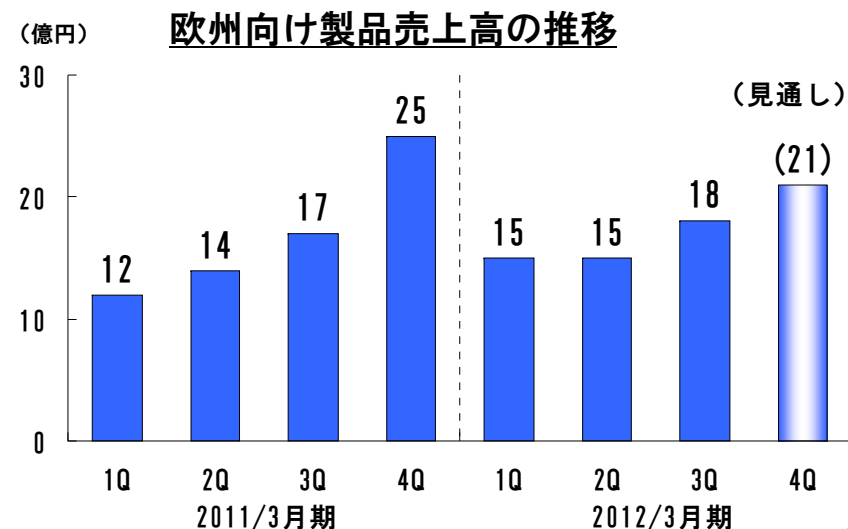
海外市場の動向（欧州）

1. 欧州市場の動向

- ・ 効果的な対応策が見出せない債務問題によりユーロ圏経済は失速
- ・ ギリシアを始め欧州の財政危機は周辺国に波及、減速感は払拭されない
- ・ 各国での財政緊縮により公共予算は削減され、設備投資・一般家計消費のマインドは減退、先行きの不透明感が依然として強い。

2. 当社の状況

- ・ 当社の主力商品は、景観整備市場におけるプロ向け商品であるため、一般経済や地方自治体の財政状況の影響を受けやすい。
- ・ 欧州代理店2011年の実売は、ドイツで前年を上回ったが、主要国のフランス・英国ではダウンとなり、欧州全体では微減で推移。



海外市場の動向（アジア、中国）

1.1 アジア市場の動向

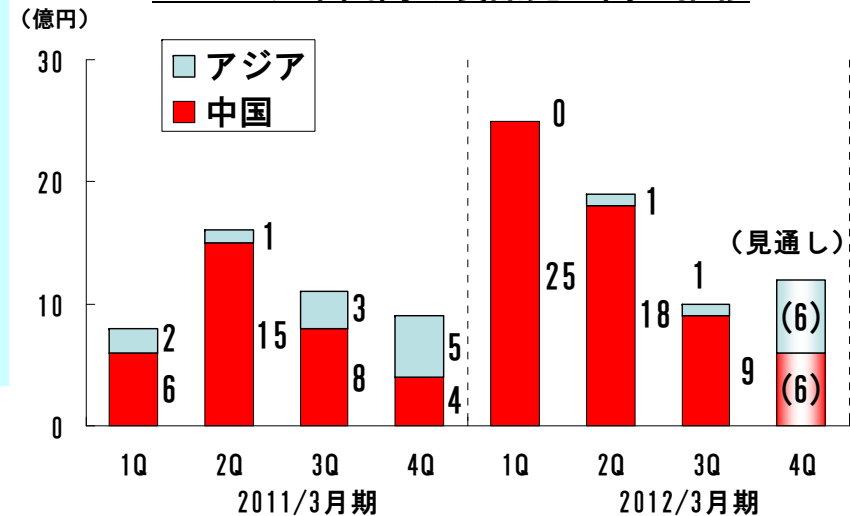
韓国

2011年のGDP成長率は2010年から大幅に減速。ウォン安を背景にした外需拡大は、欧米市場の低迷・減速により下落。

東南アジア

タイ市場は、洪水被害により大きく生産活動が後退したが乾季に入り回復基調。

アジア、中国向け製品売上高の推移



1.2 当社の状況

- ・ 為替環境の悪化やタイでの洪水等により前年を下回る見通し。

2.1 中国市場の動向

・ 農業促進補助金推移

	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年 (億円)
中央政府補助金	20	40	130	155	175	第一期 130
(億円 元:13円)	260	520	1,690	2,015	2,275	第一期 1,690

・ 毎年補助金増額で農業市場拡大基調続く

【参考】2011年 第1期 110億元 (1,430億円)

海外市場の動向（アジア、中国）

2.2 当社の動向

・ 井関常州の実売台数推移

	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	(台) 2011年 当初計画
田植機	0	120	1,110	1,620	3,250	4,841	8,102	7,000
歩行型	—	50	790	1,100	2,450	3,661	4,877	4,000
乗用型	—	70	320	520	800	1,180	3,225	3,000
コンバイン	150	220	300	470	840	624	557	430

・ 中国市場の売上推移

	(億円)						12/3月期 見通し
	06/3月期	07/3月期	08/3月期	09/3月期	10/3月期	11/3月期	
中国	5	7	13	19	35	33	58
海外売上 計	205	188	220	231	181	191	210

補助金がコンバインから田植機にシフトしたことにより、計画7,000台に対し8,102台の実売と好調、逆にコンバインは、減少傾向

・ 2012年に向けて

今シーズンの田植機販売は、東風井関が井関常州の生産を補う事により、2011年以上を目指す



3. 2012年3月期 通期業績予想



新ジャンルコンバイン HFC330

2012年3月期 通期業績予想

(単位：億円)

科 目	12/3期		増減	11/3期 通期	増減
	前回予想	今回予想			
売上高	1,445	1,450	+ 5	1,478	△28
(国内)	1,240	1,240	0	1,287	△47
(海外)	205	210	+ 5	191	+19
営業利益	29	35	+ 6	28	+ 7
経常利益	22	29	+ 7	20	+ 9
当期純利益	9	14	+ 5	△ 9	+23

※想定為替レートは、米ドル：75→77円 ユーロ：105円→100円（第4四半期～）

売上高予想(国内)

(単位：億円)

		12/3期		増減	11/3期	増減	
		前回予想	今回予想				
農業 関連事業	農業 機械	整地機	284	276	△ 8	267	+ 9
		栽培機	103	103	0	116	△13
		収穫調製機	246	259	+13	255	+ 4
		計	633	638	+ 5	638	0
		作業機・部品	296	302	+ 6	310	△ 8
		施設工事	55	50	△ 5	87	△37
		その他農業関連	255	248	△ 7	251	△ 3
		計	1,239	1,238	△ 1	1,286	△48
		その他事業	1	2	+ 1	1	+ 1
		合計	1,240	1,240	0	1,287	△47

売上高予想（海外地域別）

（単位：億円）

	12/3期		増減	11/3期	増減
	前回予想	今回予想			
北米	50	53	+ 3	56	△ 3
欧州	70	69	△ 1	68	+ 1
アジア	9	8	△ 1	11	△ 3
中国	53	58	+ 5	33	+25
オセアニア	6	4	△ 2	4	0
製品計	188	192	+ 4	172	+20
部品その他	17	18	+ 1	19	△ 1
合計	205	210	+ 5	191	+19

※想定為替レートは、米ドル：75→77円 ユーロ：105円→100円（第4四半期～）



4. トピックス



乗用管理機
愛さいか (JKB23)



トピックス

フード・アクション・ニッポン アワード2011の
研究開発・新技術部門で
「業界初7条刈コンバインHJ7120の開発」
が、前回の「疎植田植機」に続き
優秀賞受賞 (2011年12月14日受賞)



- ・ 旋回回数が減少
- ・ 作業速度を15%抑えても6条刈以上の
作業効率
- ・ 作業時間の短縮
生産コストの低減
オペレータの負荷軽減

食料自給率向上の一助

将来の見通しに関する記述についての注意

- ・本資料は、情報提供を目的として作成しており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。
- ・本資料は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社が作成したものでありますが、潜在的リスクや不確実性が含まれており、経済情勢や市場動向の変化等により実際の結果と必ずしも一致するものではありません。
- ・ご利用に際しては、ご自身の判断でお願い致します。
本資料に掲載している業績予想や目標数値に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負いません。



安心を、未来へつなぐ食料自給率1%アップ運動
FOOD ACTION NIPPON

井関グループは FOOD ACTION NIPPON の推進パートナーです。